


2021年度中間期 会社説明会

2021年11月26日



・はじめに（プロフィール）	1		
【Ⅰ. 2021年度中間期決算概要】			【Ⅱ. 経営戦略】	
・損益概要	3	・中期経営計画「ALL for the Region」 12
・資金利益	5	・法人戦略 13
・円貨貸出金利回り推移	6	・グループ総合力の発揮 16
・有価証券	7	・環境戦略 18
・非金利収入	8	・個人戦略 20
・経費・与信費用	9	・デジタル戦略 22
・自己資本比率・ROE	10	・業務改革・店舗最適化・人財活用戦略 24
・業績予想	11		



ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言 (2019.4.1)

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会の Sustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

Public Private ACTION for Partnership!!
～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
その主役はあなたです!～

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 兼間 祐二
(北海道銀行 頭取)

経営理念

- 地域共栄** : 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
- 公正堅実** : 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
- 進取創造** : 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。



ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group

設立 : 2003年
本店所在地 : 富山市
資本金 : 708億円
自己資本比率 : 9.79%
格付 : A (R&I)



北陸銀行

設立 : 1943年
(創業1877年)
本店所在地 : 富山市
店舗数 : 国内188(支店145・出張所43)
海外5

従業員数 : 2,359人
(在籍ベース)

資本金 : 1,404億円
自己資本比率 : 9.49%
格付 : A (R&I) ・ A- (S&P)



北海道銀行

設立 : 1951年

本店所在地 : 札幌市
店舗数 : 国内144(本支店136・出張所8)
海外3

従業員数 : 2,220人
(在籍ベース)

資本金 : 935億円
自己資本比率 : 9.21%
格付 : A (R&I)



I . 2021年度中間期 決算概要

損益概要(連結・2行合算)

連結経常利益は、子銀行2行におけるコア業務純益の増加などにより、期初予想を50億円上回る190億円、連結中間純利益は同46億円上回る131億円となりました。

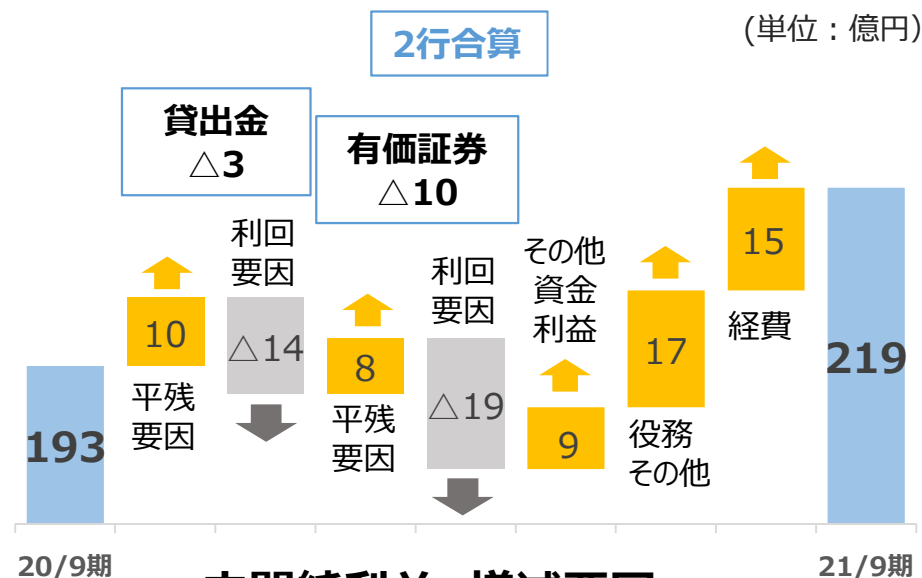
2021/9期 損益

	【億円】			
【ほくほくFG連結】	期初 予想	実績	前中間 期比	期初 予想比
経常利益	140	190	9	50
親会社株主に帰属する中間純利益	85	131	1	46

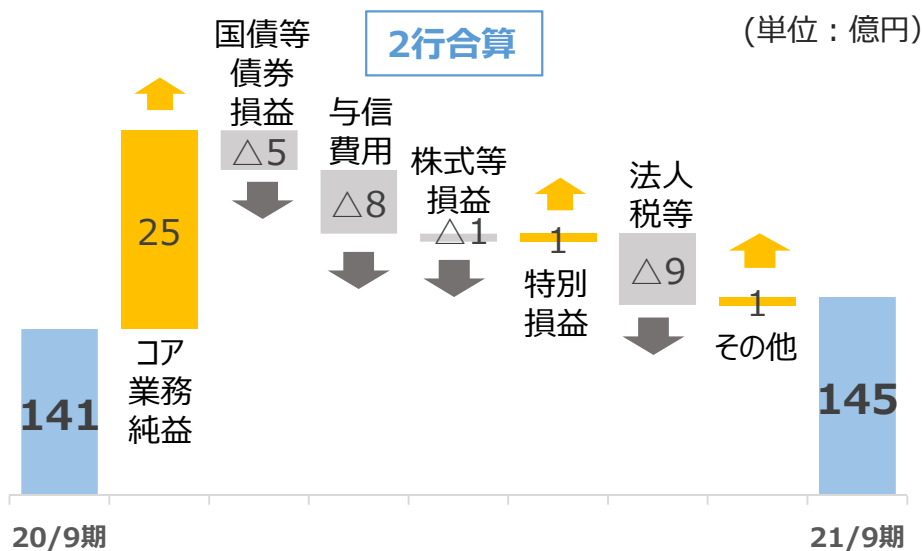
【2行合算】	期初 予想	実績	前中間 期比	期初 予想比
コア業務粗利益	605	619	10	14
資金利益		525	△ 4	
うち貸出金利息		414	△ 3	
うち有価証券利息		101	△ 10	
役務取引等利益		88	15	
特定取引利益		0	△ 0	
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		5	△ 0	
経費(△) (臨時処理分を除く)	415	400	△ 15	△ 14
コア業務純益	190	219	25	29
(投資信託解約損益を除く)		213	33	
国債等債券損益		16	△ 5	
実質業務純益(※)		235	20	
一般貸倒引当金繰入(△)		19	10	
臨時損益		△ 17	1	
うち不良債権処理額(△)		33	△ 2	
うち株式等損益		17	△ 1	
経常利益	150	198	11	48
特別損益		△ 2	1	
法人税等(△)		51	9	
中間純利益	100	145	4	45
(参考)与信費用(△)	65	52	8	△ 12

※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因



中間純利益 増減要因



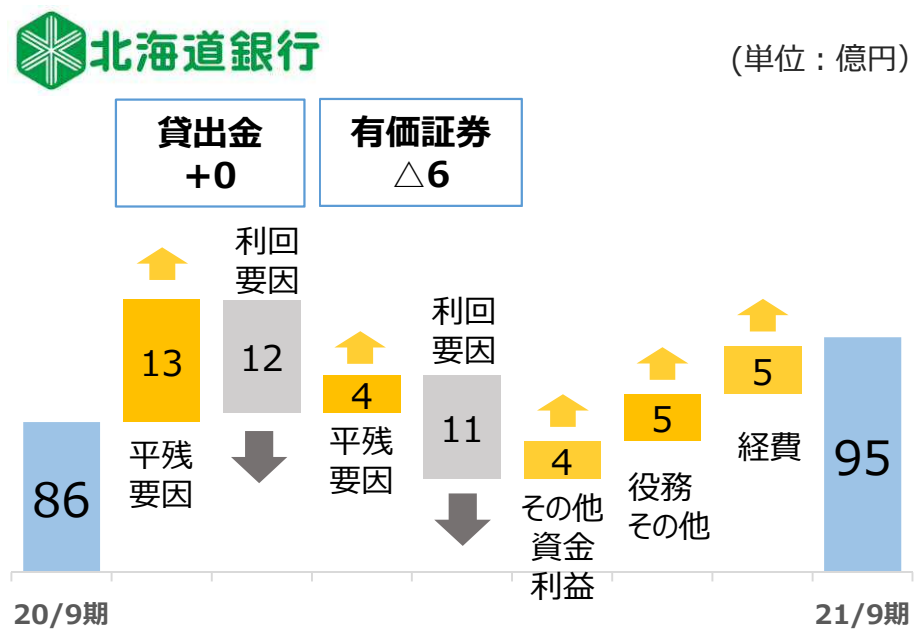
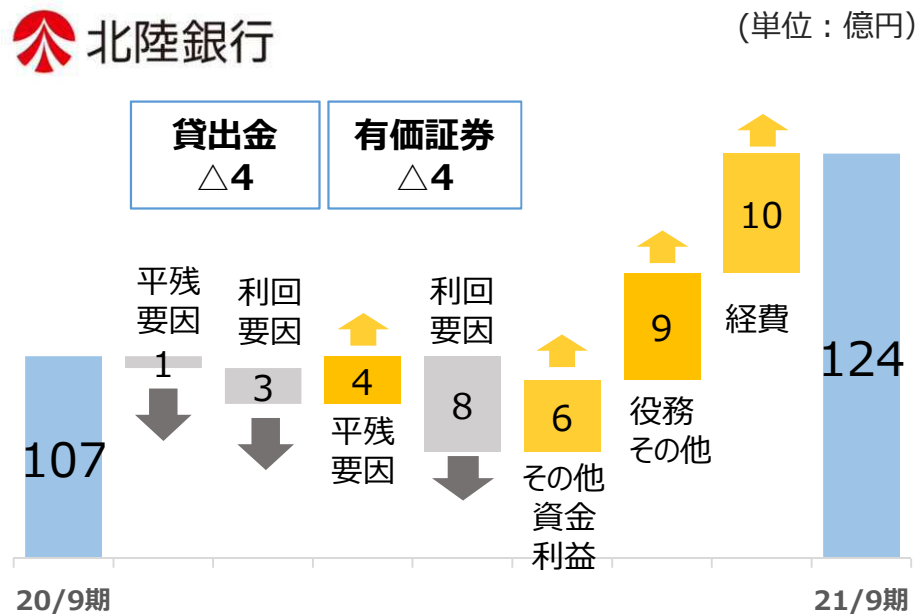
2021/9期 損益

(億円)

	北陸		北海道	
		前中間期比		前中間期比
コア業務粗利益	335	6	283	3
資金利益	275	△ 2	249	△ 2
うち貸出金利息	207	△ 4	207	0
うち有価証券利息	63	△ 4	37	△ 6
役務取引等利益	56	9	32	5
特定取引利益	0	△ 0	-	-
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	3	△ 0	1	△ 0
経費(△)(臨時処理分を除く)	211	△ 10	188	△ 5
人件費	105	△ 5	84	△ 2
物件費	90	△ 2	88	△ 2
税金	15	△ 1	16	0
コア業務純益	124	16	95	8
(投資信託解約損益を除く)	116	18	96	15
国債等債券損益	7	△ 10	8	4
実質業務純益(※)	132	6	103	13
一般貸倒引当金繰入(△)	6	△ 1	12	11
臨時損益	△ 1	9	△ 15	△ 7
うち不良債権処理額(△)	17	△ 8	15	5
うち株式等損益	10	△ 1	6	0
経常利益	124	17	74	△ 5
特別損益	△ 1	1	△ 0	△ 0
法人税等(△)	30	10	20	△ 1
中間純利益	92	8	52	△ 4
(参考)与信費用(△)	24	△ 9	28	17

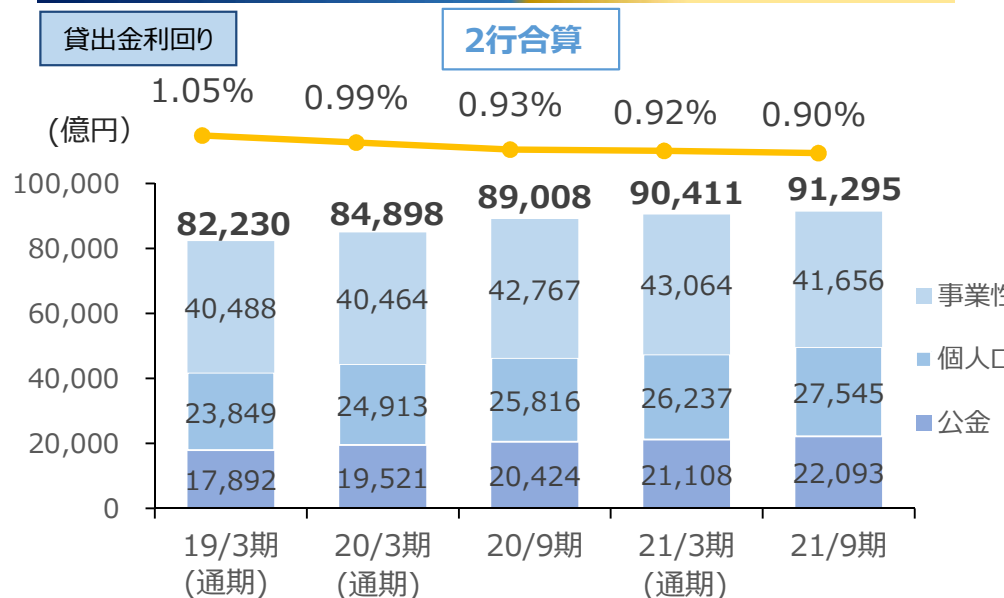
※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因

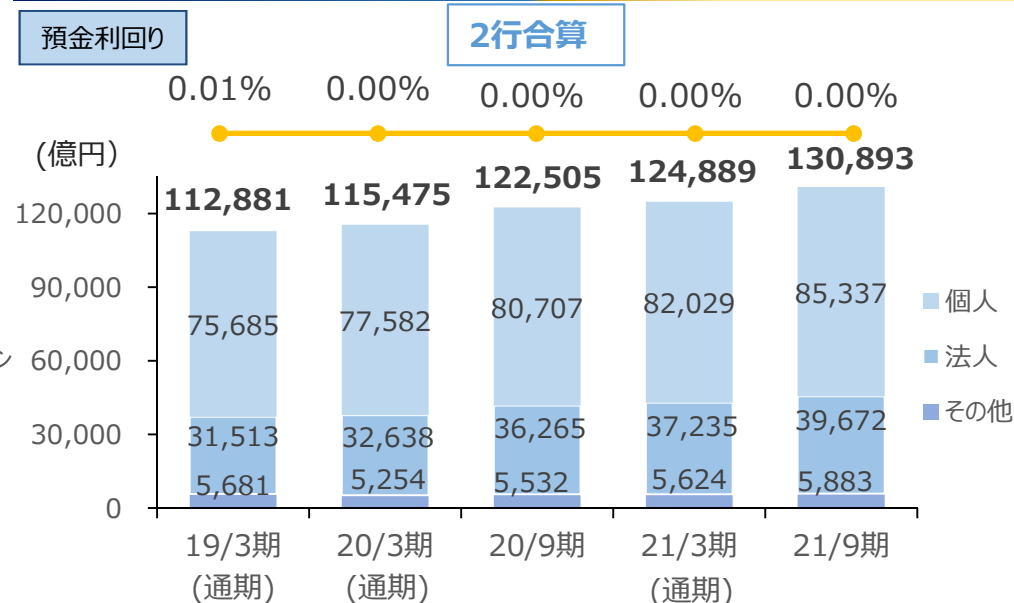


2行合算の資金利益は、貸出金や有価証券の積み上げなどにより、利回りの低下を一部カバーし、前中間期比4億円減少の525億円となりました。

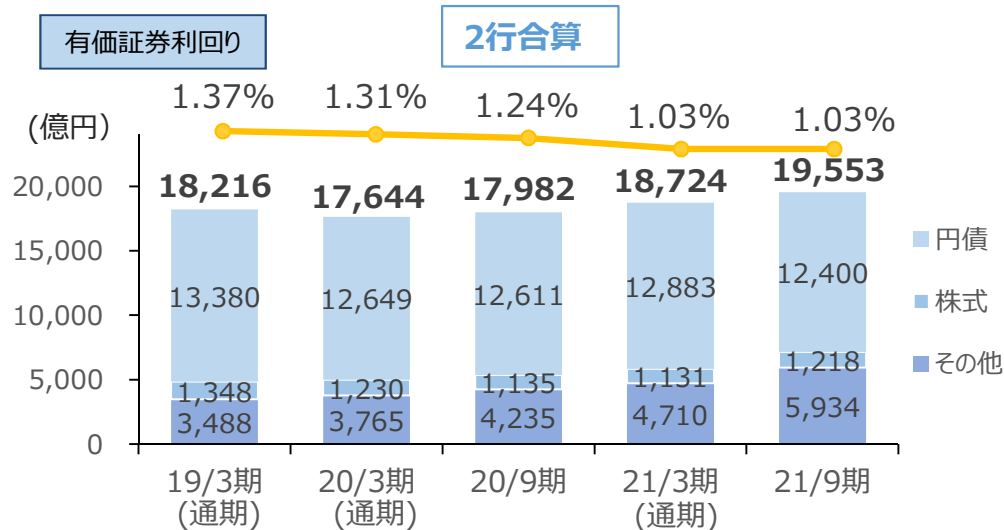
貸出金平残・利回り推移



預金平残・利回り推移



有価証券平残・利回り推移



資金利益

21/9期	2行合算	前中間期比	北陸	前中間期比	北海道	前中間期比
資金利益	525	△ 4	275	△ 2	249	△ 2
うち貸出金利息	414	△ 3	207	△ 4	207	0
貸出金平残	91,295	2,287	50,110	△ 241	41,184	2,528
利回り	0.90%	△0.03%	0.82%	△0.01%	1.00%	△0.06%
うち預金利息 (△)	2	△ 1	1	△ 0	0	△ 0
預金平残	130,893	8,388	74,631	4,130	56,262	4,257
利回り	0.00%	△0.00%	0.00%	△0.00%	0.00%	△0.00%
うち有価証券利息	101	△ 10	63	△ 4	37	△ 6
有価証券平残	19,553	1,571	11,577	712	7,975	858
利回り	1.03%	△0.20%	1.09%	△0.14%	0.94%	△0.29%

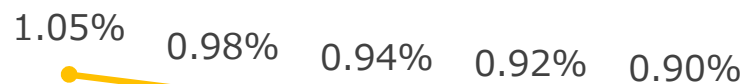
円貨貸出金 利回り推移

事業性貸出金の利回り上昇により、円貨事業性貸出金利息額は前中間期同水準を確保しております。

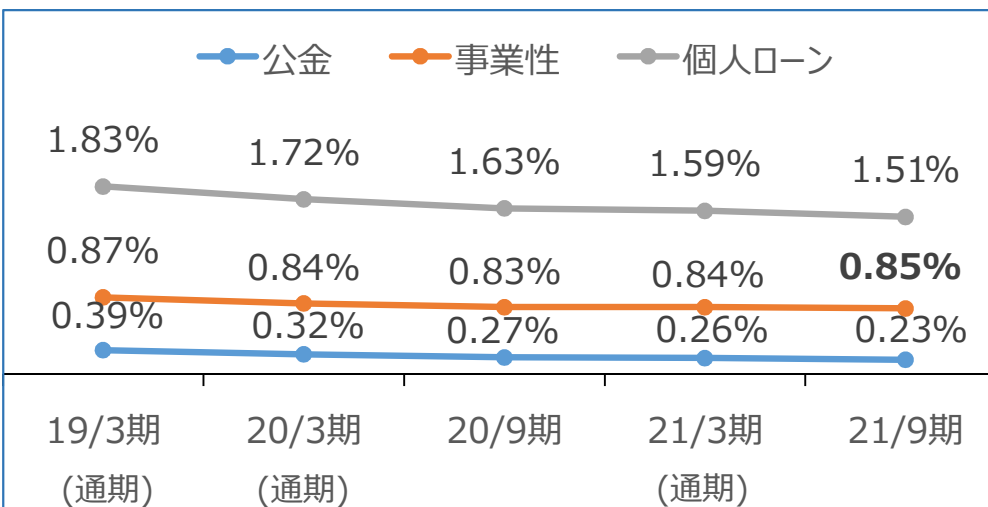
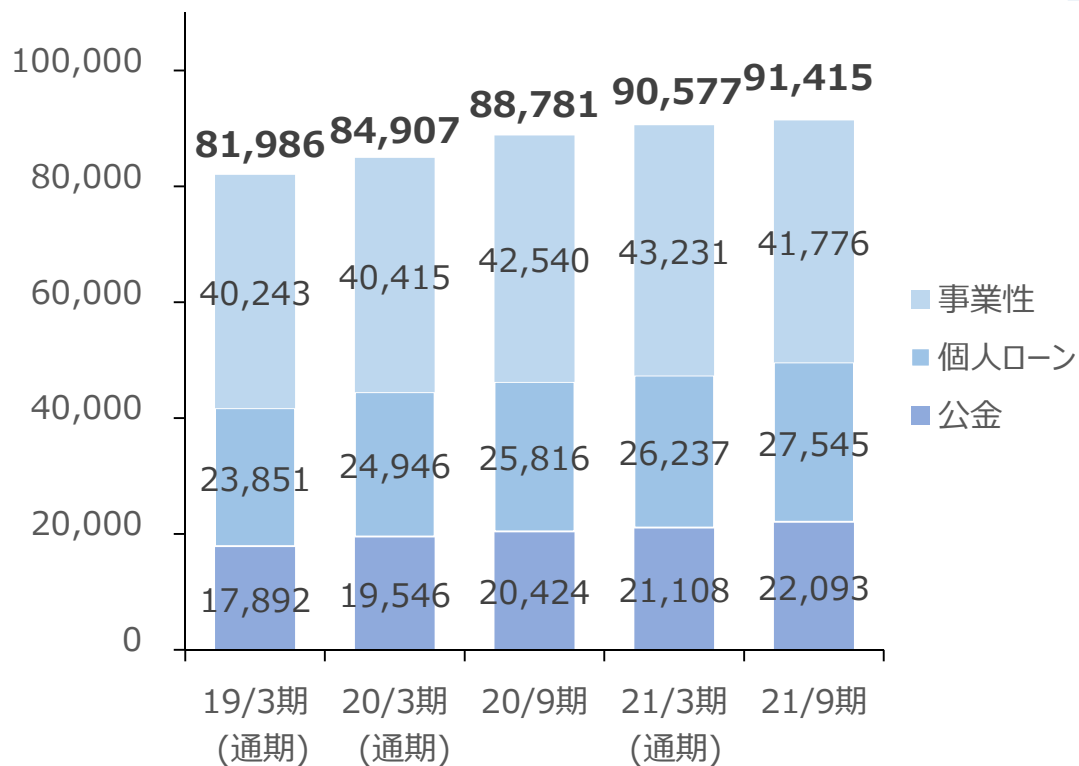
円貨貸出金平残・利回り推移

2行合算

円貨貸出金利回り

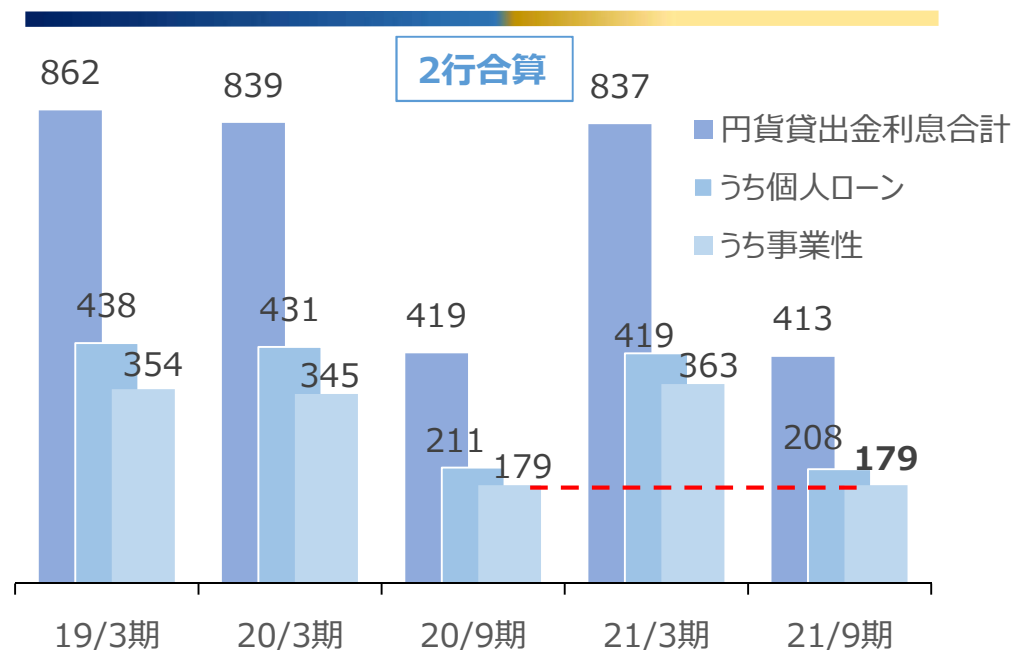


(億円)



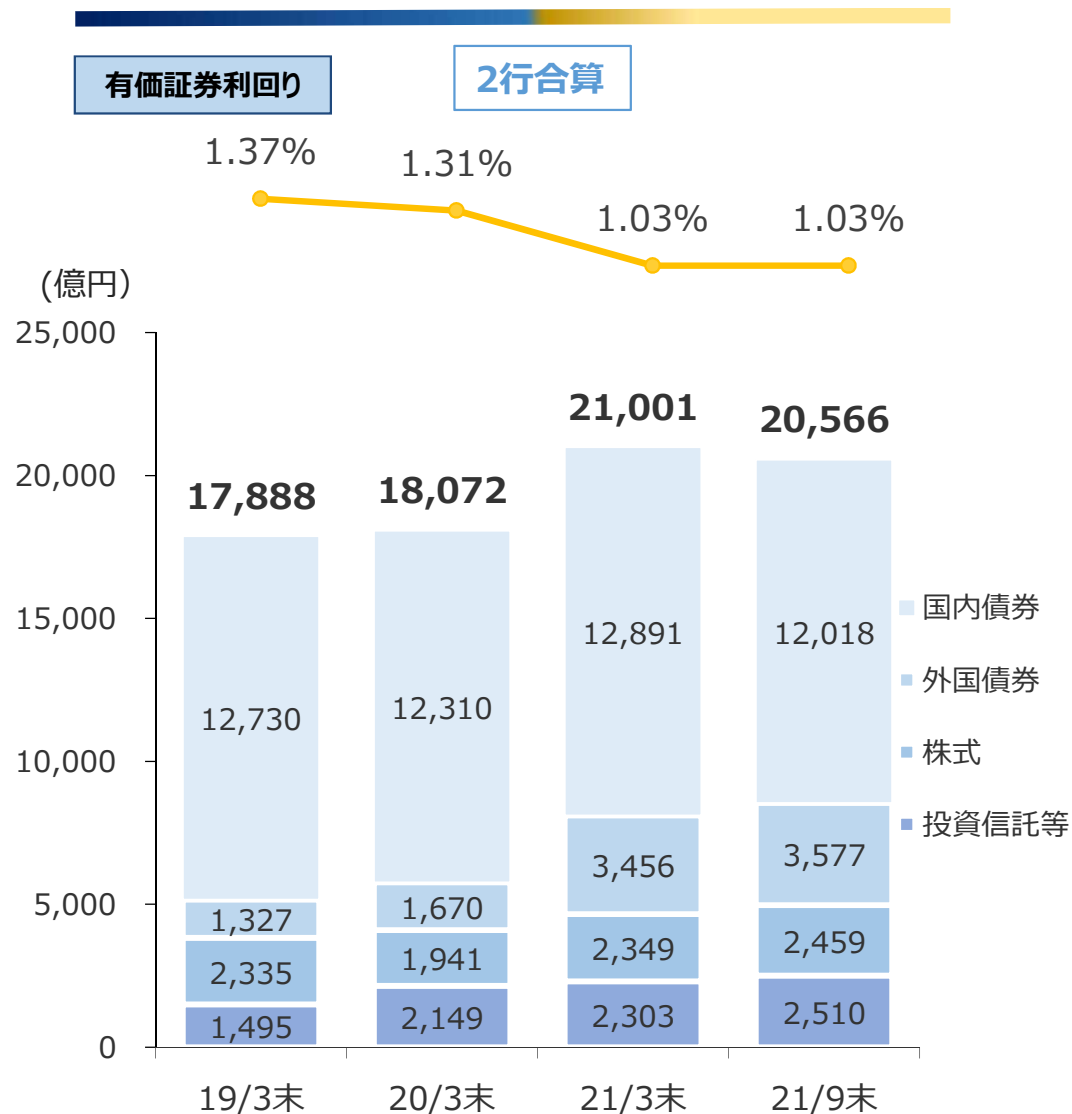
円貨貸出金利息

2行合算



有価証券残高は、国内債券の償還分を外国証券や投資信託に分散投資し、概ね前期末同水準となりました。株式や外国証券の評価損益が改善し、その他有価証券の評価損益は前期末比122億円増加の1,232億円となりました。

有価証券残高（末残）



有価証券損益・評価損益

2行合算 (億円)

	21/9期	増減額	20/9期
有価証券利息	101	△ 10	112
円債	22	△ 9	31
株式	36	6	29
その他	42	△ 7	50
【参考】外貨調達コスト (△)	2	△ 0	3
有価証券の売買損益	33	△ 6	39
国債等債券損益	16	△ 5	21
株式等損益	17	△ 1	18
その他有価証券の評価損益	1,232	122	1,110
債券	33	12	20
株式	1,196	39	1,156
その他	2	69	△ 67

非金利収入は、投信・保険手数料など預かり資産関連役務手数料や法人コンサルティング手数料の増加により、前中間期比14億円増加の94億円となりました。非金利収入比率は前中間期比+2.15%の15.18%となりました。

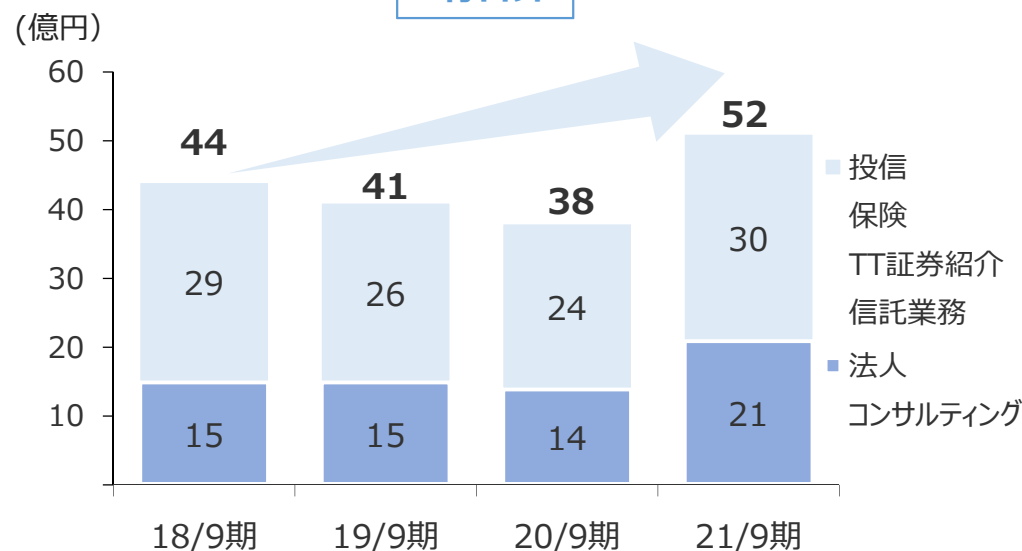
非金利収入

2行合算

	21/9期		20/9期
		増減額	
(1) 役務取引等利益	88	15	73
役務取引等収益	175	15	160
うち受入為替手数料	52	0	51
うち投信・保険手数料	27	5	21
うちほくほくTT証券紹介手数料・信託業務手数料	3	0	2
うち法人コンサルティング手数料	21	5	14
私募債・シンジケートローン	9	1	7
M&A、事業承継、その他コンサル	7	3	3
ビジネスマッチング	4	1	2
役務取引等費用 (△)	87	0	86
うち支払為替手数料 (△)	9	0	9
うちローン保険料・保証料 (△)	63	0	63
(2) 特定取引利益	0	△ 0	0
(3) その他業務利益 (除く5勘定戻)	5	△ 0	5
うち外為売買損益	5	0	4
(4) 非金利収入計 (1) + (2) + (3)	94	14	79
(5) コア業務粗利益	619	10	609
(6) 非金利収入比率 (4) / (5) (%)	15.18	2.15	13.03

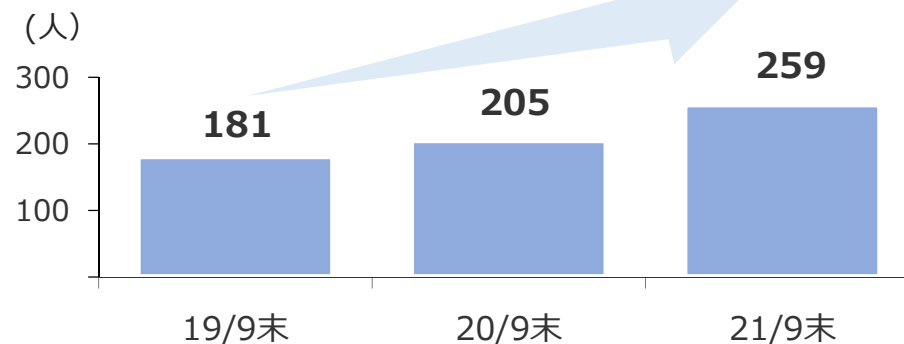
法人・個人コンサルティング関連役務収益

2行合算



個人向け総合金融コンサルティング拠点人員数

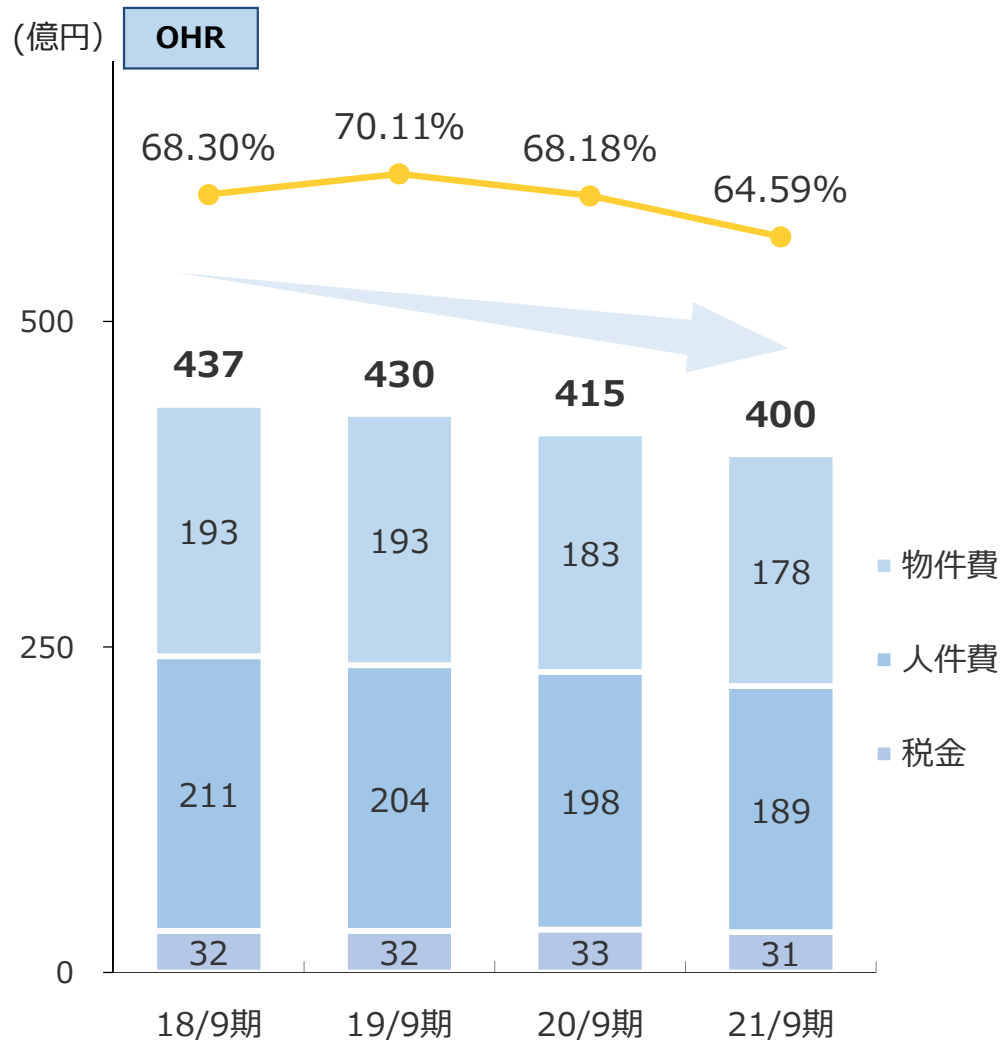
2行合算



継続的な業務効率化の取組みを通じ、経費は前中間期比15億円減、OHRは3.59ポイント改善し64.59%となりました。与信費用は前中間期比8億円増加の52億円、開示債権比率は2.07%になりました。

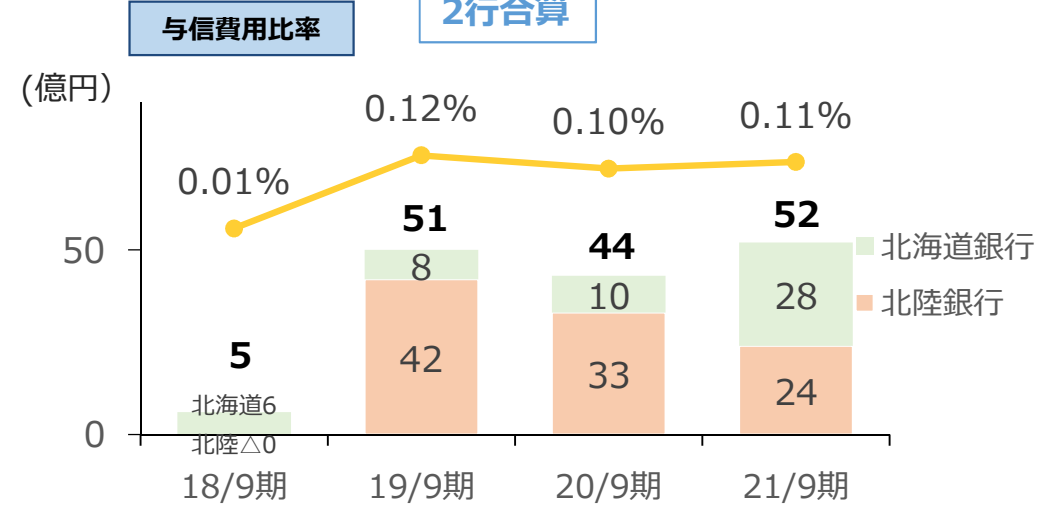
経費・OHR

2行合算



与信費用

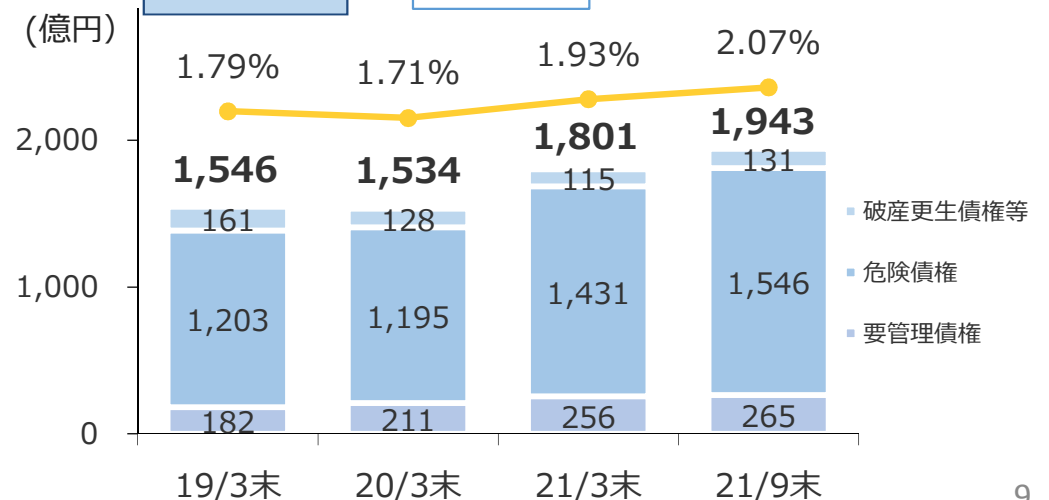
2行合算



金融再生法開示債権

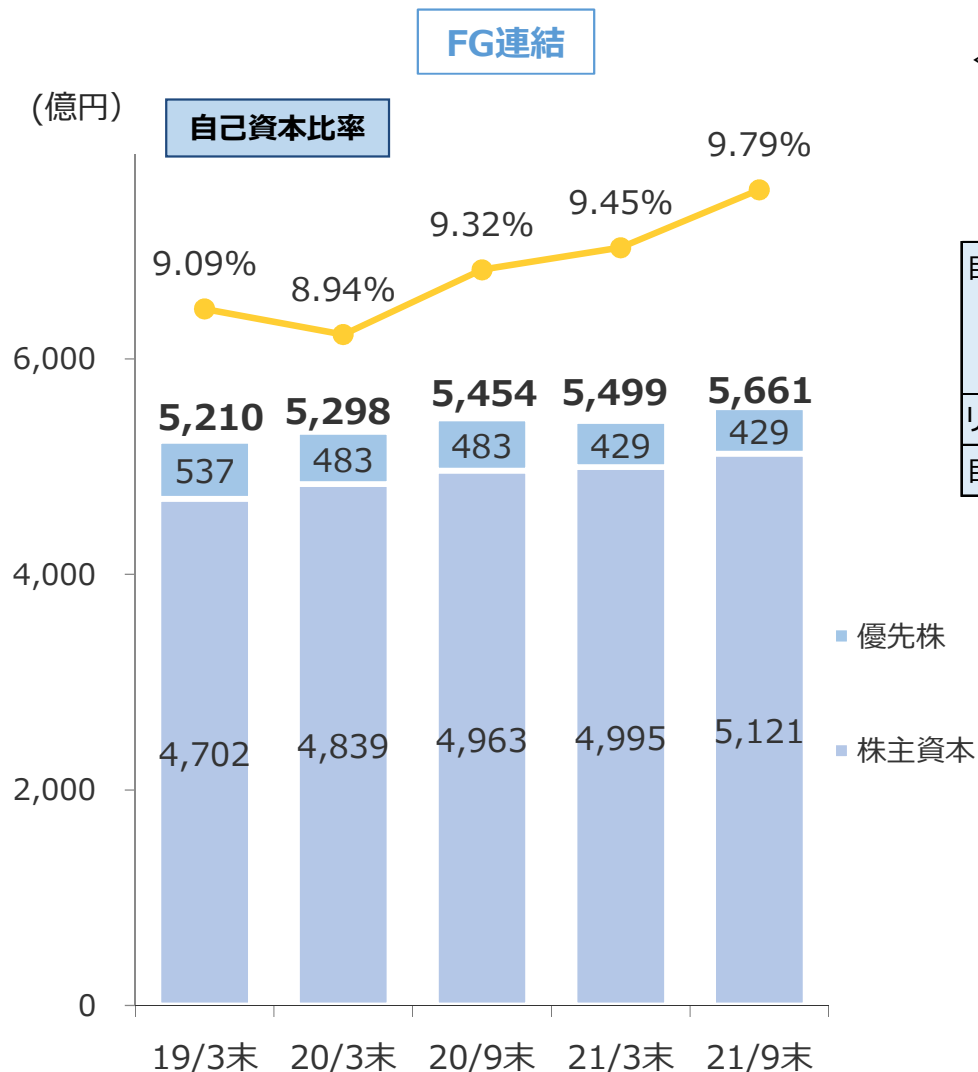
開示債権比率

2行合算



自己資本比率は、利益剰余金の積上げによる自己資本の増加およびリスクアセットの減少により、前期末比0.34ポイント上昇の9.79%となりました。

連結自己資本比率



※2021年10月1日に優先株の一部53.7億円の償還を実施しております。

自己資本・リスクアセット

<バーゼルⅢ国内基準> FG連結 (億円)

	経過措置適用			完全実施(試算)		
	21/9末	増減額	21/3末	21/9末	増減額	21/3末
自己資本	5,661	162	5,499	5,198	161	5,036
基礎項目	5,787	150	5,637	5,324	150	5,174
調整項目 (△)	126	△ 11	137	126	△ 11	137
リスクアセット	57,788	△ 371	58,160	57,656	△ 371	58,028
自己資本比率	9.79%	0.34%	9.45%	9.01%	0.34%	8.67%

ROE

	18/3	19/3	20/3	21/3	21/9
連結	3.6%	4.0%	3.4%	3.5%	4.1%
2行合算	4.4%	4.9%	3.9%	4.1%	5.0%

2022年3月期 通期業績予想 (2021年11月10日上方修正済)

FG連結

(億円)

	22/3期		
	業績予想	期初予想比	前期比
経常利益	320	15	△ 2
当期純利益 (※)	200	15	△ 13

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

2行合算・子銀行単体

(億円)

	【2行合算】		【北陸銀行】		【北海道銀行】	
	22/3期 予想	前期比	22/3期 予想	前期比	22/3期 予想	前期比
コア業務粗利益	1,245	37	680	12	565	24
経費 (△)	810	△ 13	430	△ 9	380	△ 4
コア業務純益	435	50	250	21	185	28
与信費用 (△)	140	9	80	△ 4	60	13
経常利益	330	9	195	△ 10	135	19
当期純利益	220	△ 4	125	△ 17	95	13

2022年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	35円00銭	35円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

Ⅱ. 経営戦略

中期経営計画(2020/3期～2022/3期)

目指す姿

位置付け

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針

「地域社会発展への貢献」
「未来への進化・変革」
「グループ総合力の発揮」

共通 価値の創造

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ

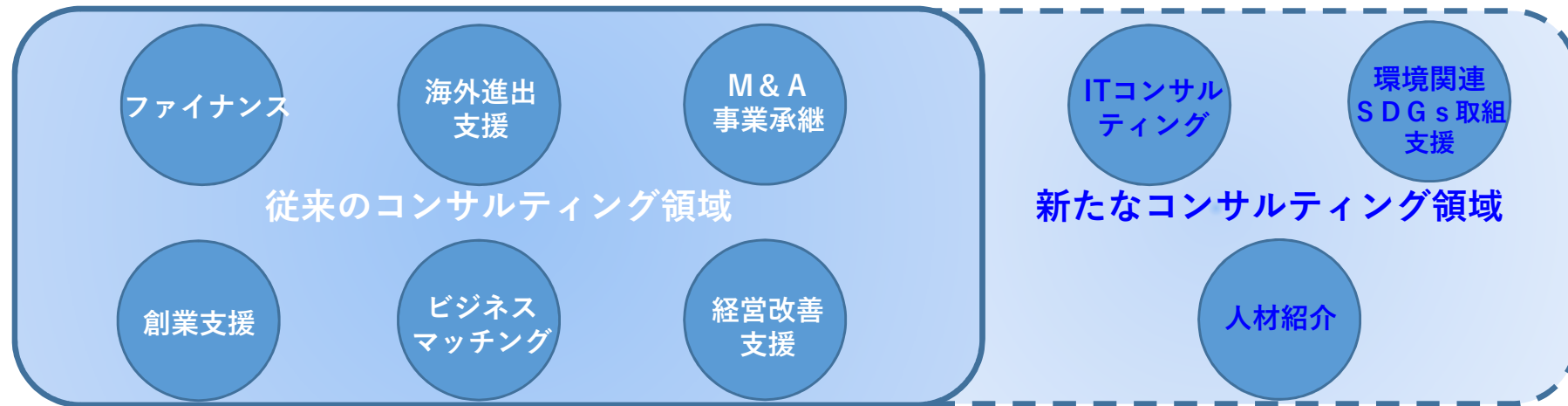
重点指標

項目	2020/9期	2021/9期	前中間期比	2022/3期中計目標
本業利益(2行合算)*	85億円	120億円	+35億円	220億円以上
中間純利益(連結)	130億円	131億円	+1億円	220億円以上
自己資本比率(連結)	9.32%	9.79%	+0.47%	8%台維持
コア業務粗利益ベースOHR(2行合算)	68.18%	64.59%	△3.59%	60%台維持

*「コア業務純益－有価証券利息損益(外貨調達コスト除くネット損益)」にて算出

コンサルティング領域の拡大

地域のお取引先の様々な経営課題にお応えするため、コンサルティング領域を拡大しています。

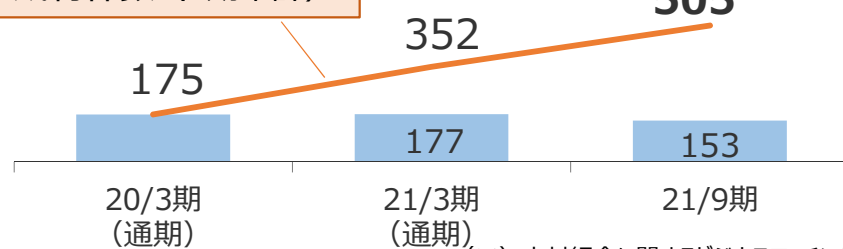


人材紹介業務 (北陸銀行 2019年7月～)



人材紹介成約件数

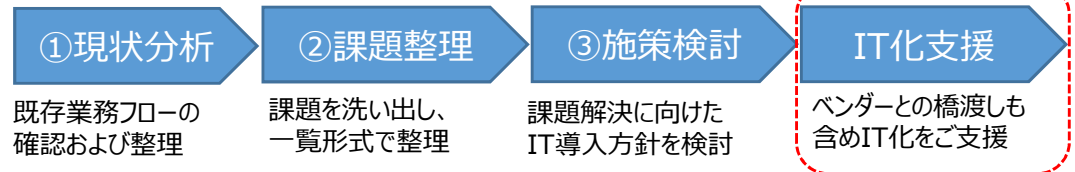
成約件数 (3期累計)



(※) 人材紹介に関するビジネスマッチングを含む

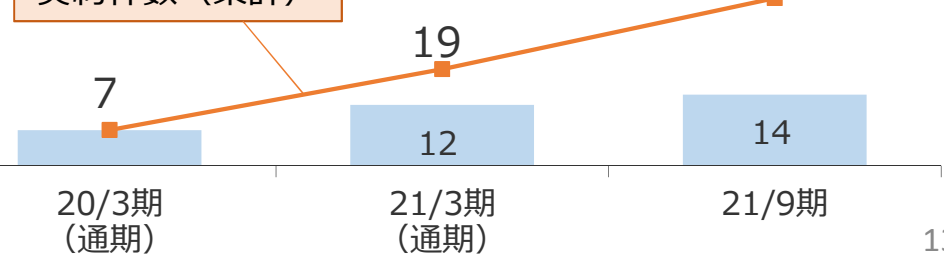
ITコンサルティング (北陸銀行 2019年4月～)

「業務効率化支援の流れ」



ITコンサルティング契約件数

契約件数 (累計)

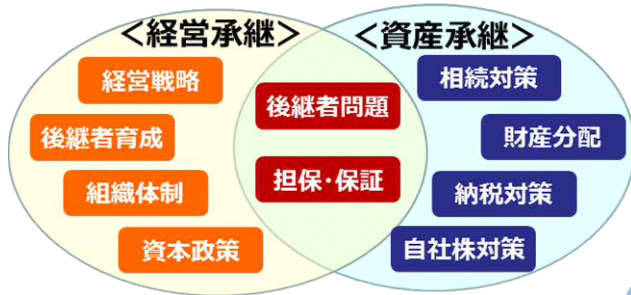


企業の経営課題やライフステージに応じた最適なソリューションを提供

お取引先の円滑なビジネス承継や事業領域の拡大に対し、最適なソリューションをご提供しています。

M&A、事業承継

事業承継、M&Aニーズは年々増加傾向



「60歳以上の経営者の割合」

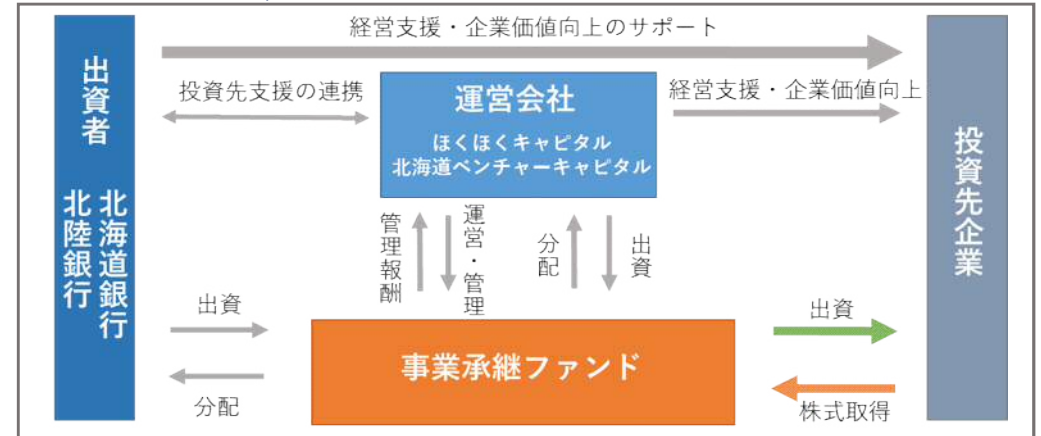
53.4%

60歳以上…36,167人

60歳未満…31,614人

※ 子銀行取引先の経営者情報より算出

事業承継ファンドの活用



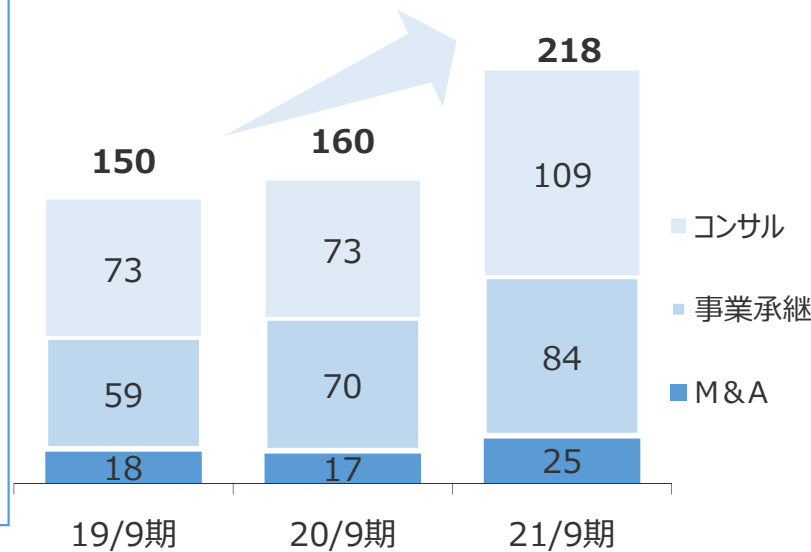
■ M&Aカンファレンスの開催

11/5に北陸銀行と日本M&Aセンターで
M & Aカンファレンスを共同開催(WEB開催)

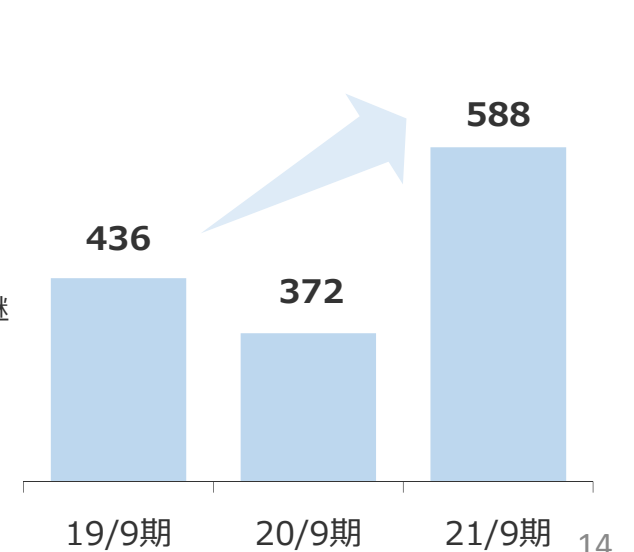
WEB参加者数：9,700人



M&A、事業承継、コンサル成約件数



M&A、事業承継、コンサル収益 (百万円)



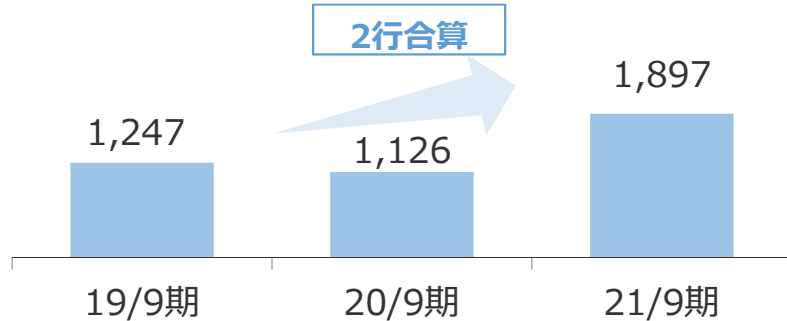
企業の経営課題やライフステージに応じた最適なソリューションを提供

広域拠点網や外部機関とのネットワークを活用し、様々なご提案を実践しております。

ビジネスマッチングの強化

2行で統一化したビジネスマッチングシステムの活用等により、お取引先の販路開拓など企業課題解決をご支援

ビジネスマッチング成約件数（件）



公的助成申請サポートによる事業支援

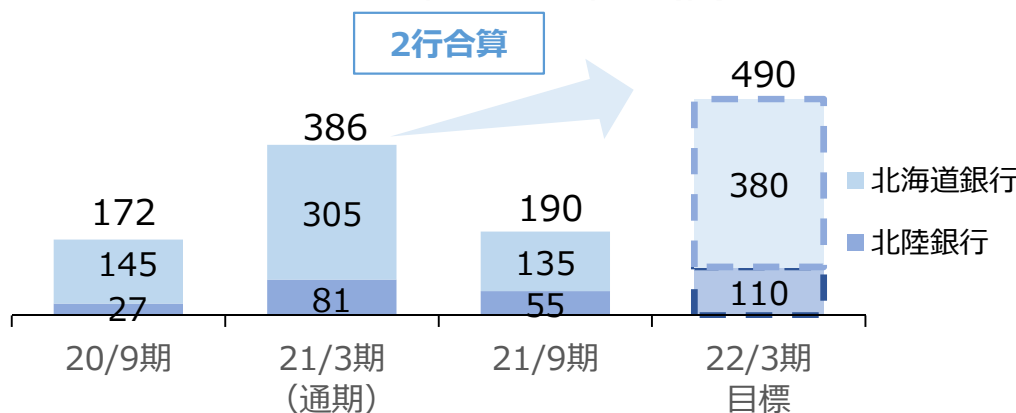
公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業意欲を後押しし、事業多角化をサポート

2021年度上期	事業再構築補助金採択数	ものづくり補助金採択件数
北陸銀行	73件	9件
北海道銀行	51件	14件

ESG・SDGs 関連投融資

本業を通じた持続可能な社会の実現に貢献するため、エコ私募債や寄贈型SDGs私募債等を推進

ESG・SDGs 関連投融資件数（件）



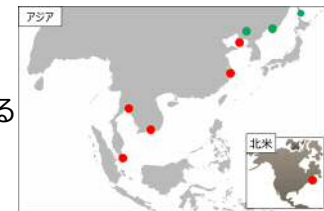
海外取引支援

コロナ禍においてもオンラインツールを活用したWEB面談等も活用しお取引先の海外での企業活動をご支援

お取引先との面談件数（2021年度上期）

1,350件（前年同月比+413件）

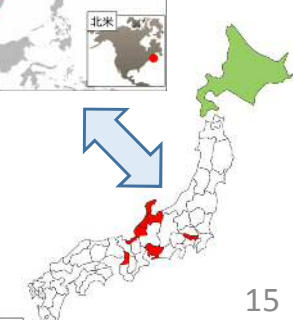
※）海外駐在員事務所の海外取引支援に係る面談件数（WEB面談含む）



海外ビジネスマッチング成約件数(2021年度上期)

12件（同±0）

※）お取引先と海外現地法人のビジネスマッチング

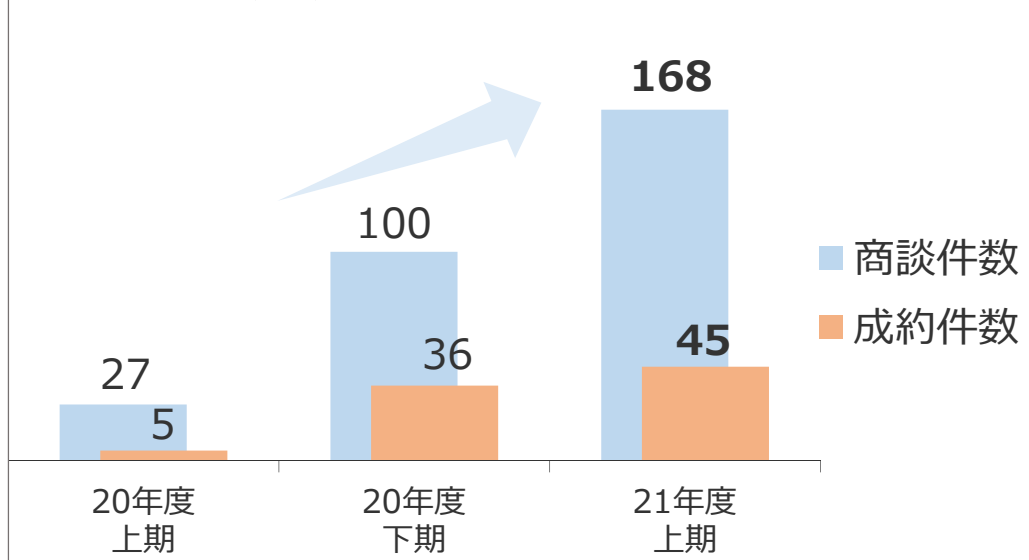


ほくほく連携の強化

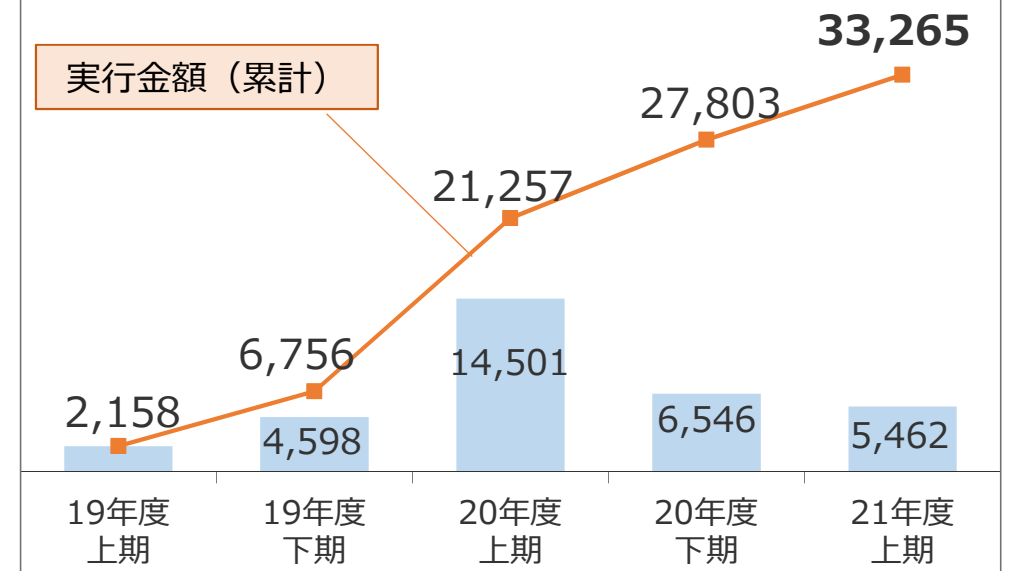
広域地域金融グループの営業基盤は当社グループ最大の強みであり、北陸3県と3大都市圏を中心とした本州地区と北海道地区を繋ぐ広域ビジネスマッチングなどに積極的に取り組んでおります。



ほくほく連携ビジネスマッチング実績（件）

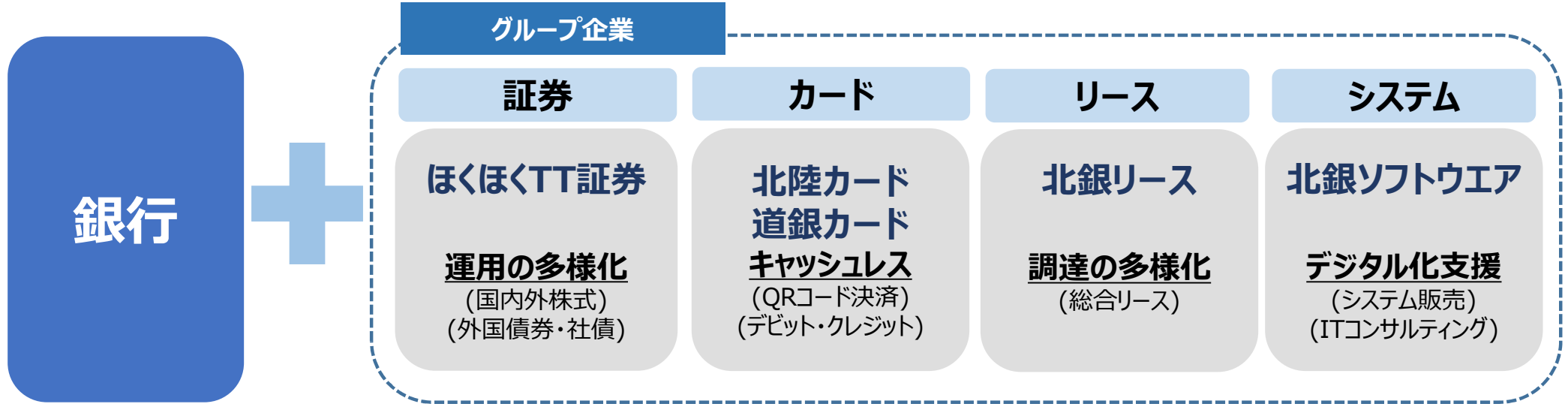


ほくほく連携協調融資実行額（百万円）



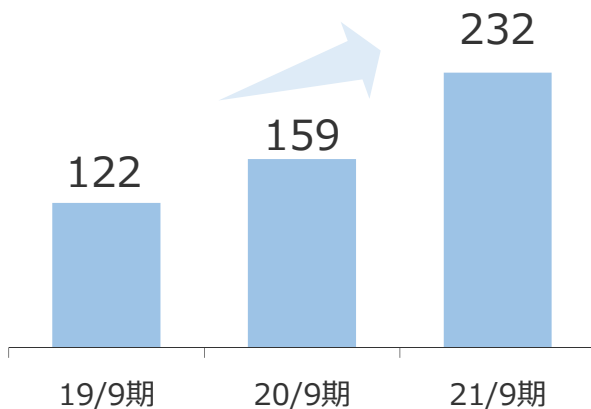
総合金融グループとして幅広い金融サービスを提供

お客様の多様なニーズにお応えすべく、グループ各社と連携し、幅広い金融サービスを提供しております。



ほくほくTT証券

ほくほくTT証券紹介手数料 (百万円)(※1)



(※1)ほくほくTT証券からの両行への還元手数料

北銀ソフトウェア

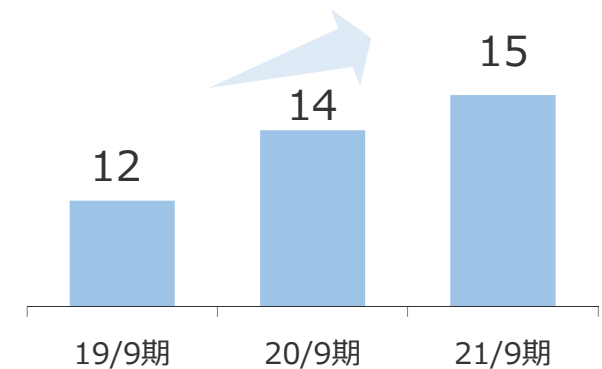
【預かり物件管理システム(※2)】

北銀ソフトウェアが開発し、北陸銀行・北海道銀行に導入。他の金融機関様へもご提案中
〈導入済: 2社〉〈受注・商談中: 5社〉

(※2)訪問先および窓口での預かり物件の受領、事業所内外各係への預かり物件引き渡し、預かり物件(期日)管理、返却までの一連の業務をタブレットPCに内蔵したアプリケーション上で処理可能なシステム

関連会社利益

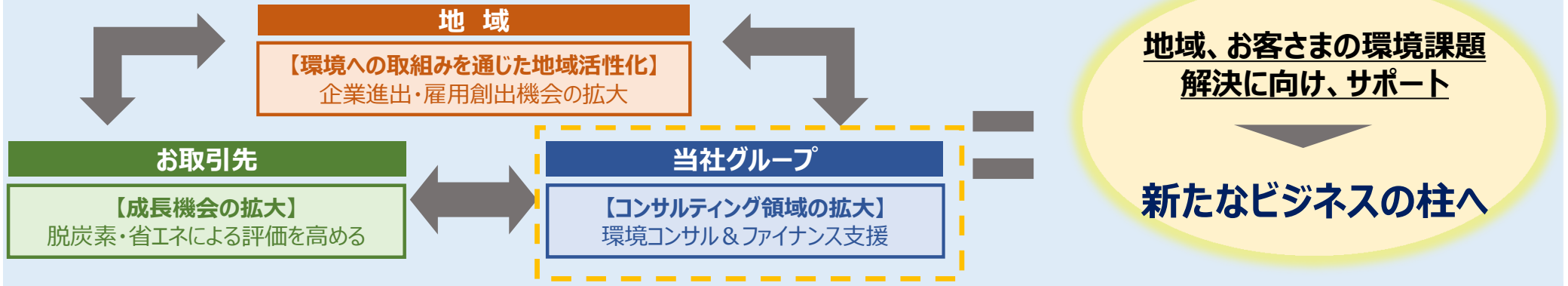
関連会社経常利益 (億円)



環境課題への取組み

地域とお取引先の環境課題の解決に向け様々なコンサルティングメニューをご提案してまいります。

《当社グループの目指す姿》



取引先のニーズ	
認識・動機	自社には関係ない
現状把握①	何から取り組めばよいかわからない
現状把握②	自社のCO2排出量など現状の把握方法がわからない
戦略の策定	戦略を立てる人材がいない 戦略の策定方法がわからない
戦略の実行	戦略の実行に向けた最適な手段や資金調達方法を知りたい

コンサルティングメニュー
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 情報提供 ➢ 事業性評価
<ul style="list-style-type: none"> ➢ SDGs評価サービス
<ul style="list-style-type: none"> ➢ CO2排出量の計測支援 ➢ 環境戦略策定コンサル
<ul style="list-style-type: none"> ➢ サステナブルファイナンス ➢ 環境関連ビジネスマッチング

SDGs評価サービス取扱い開始

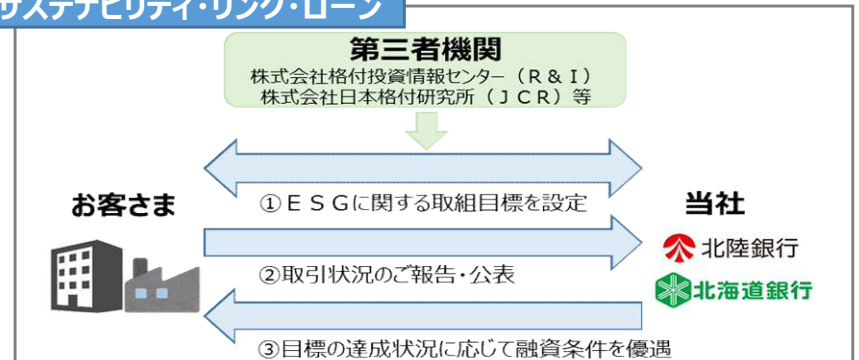
- ・2021年度より、両行で取扱開始
- ・取引先企業のSDGs取組み状況を把握・分析。
⇒地域企業の「SDGs宣言」策定をサポート

契約件数
87件
(2021年上期)

ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始

- ・2021年9月より、「サステナビリティ・リンク・ローン型」及び「グリーンローン型」の2商品を両行の共通商品として取扱開始

サステナビリティ・リンク・ローン

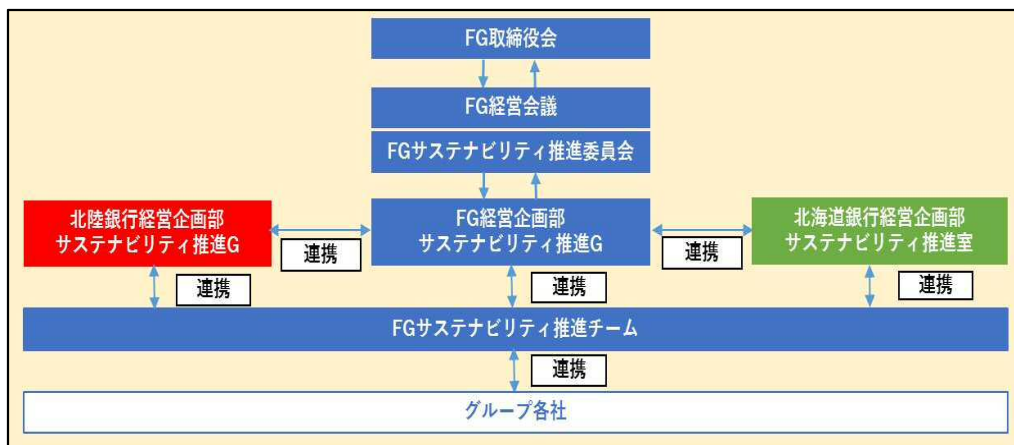


環境課題への取組み

環境戦略の実践に向け、推進体制を強化し、投融資にかかる方針および目標を策定いたしました。

推進体制の強化

2021年11月より、「FGサステナビリティ推進委員会」およびFGおよび両行にサステナビリティ推進部署を新設



サステナブル関連投融資目標

サステナブル関連投融資（※1）

実行額目標

1.5兆円

（2021年度～2030年度）

うち、環境関連投融資（※2）

実行額目標

0.7兆円

（2021年度～2030年度）

※1）SDGs達成に向けて取り組む取引先への投融資および医療、保健、教育、漁業、農業、創業、事業承継、レジリエンス、環境関連等への投融資

※2）気候変動対応など環境に配慮した取り組みを支援する投融資

「特定事業等にかかる投融資ポリシー」の制定

■ 本ポリシーの概要

環境・社会にポジティブな影響を与えられとされる企業や事業に積極的に支援していくとともに以下の特定事業等に対する投融資には十分に留意した対応を行う

【特定事業】

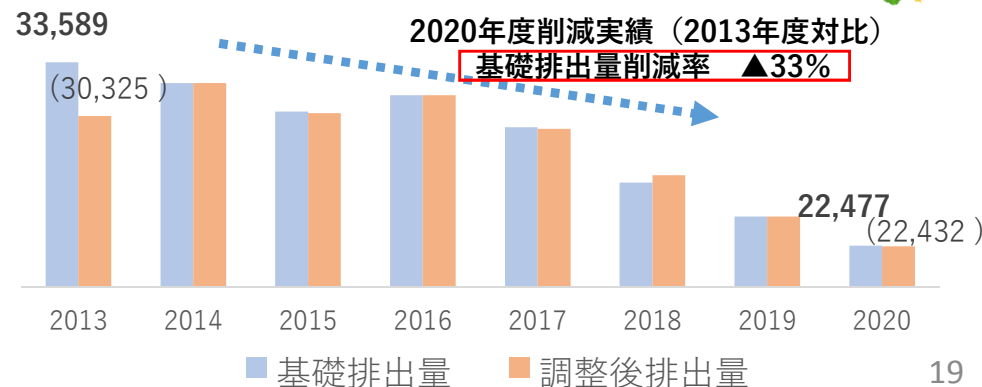
- ・石炭火力発電事業
- ・森林伐採事業
- ・人権侵害や強制労働等
- ・パーム油農園開発
- ・兵器製造事業

CO2排出量削減目標の引き上げについて

2030年度削減目標（2013年度対比）

26%→**46%**に引上げ

温室効果ガス排出量推移（年度）



ライフステージに応じた資産形成支援

推進拠点の最適化とライフステージや対面・非対面チャネルに応じた商品の拡充を図っております。

お客さま本位の徹底

- ・お客さまのリターンの改善に向けた取り組み
⇒長期・分散・積立を基本とした運用提案
- ・研修や資格試験による専門知識習得と提案力強化

情報提供の充実

- ・資産運用オンラインセミナーの開催
- ・投資信託サイトの全面リニューアル

商品ラインアップの充実

- ・インターネット専用商品数・・・**96商品**
- ・E S G・S D G s 関連商品数・・・**17商品**

バランスファンド
で長期積立

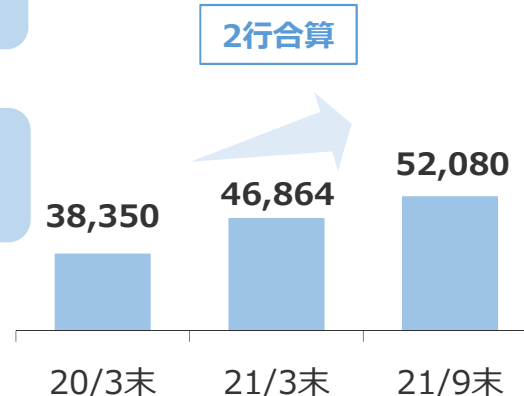
安定的な資産形成

顧客本位の
業務運営の実現

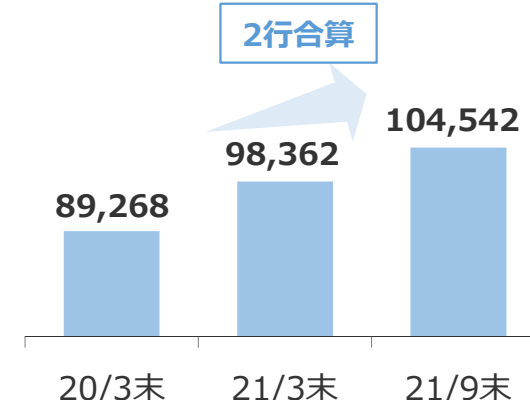
ライフステージに応じたご提案

- ・資産形成層に向けた積立型商品のご提案
- ・資産承継層に向けた信託・保険等のご提案

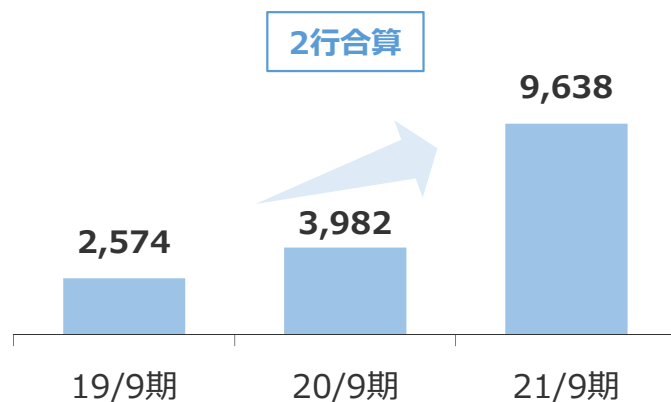
積立型投資信託 先数



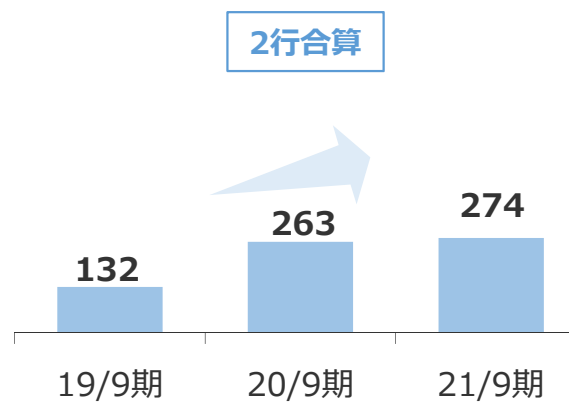
平準払保険 契約件数



投資信託インターネット販売額 (百万円)



信託取扱件数 (取次を含む)



個人向け総合金融コンサルティング 拠点の拡大

2021年度上期、富山県、石川県に新たに2拠点開設

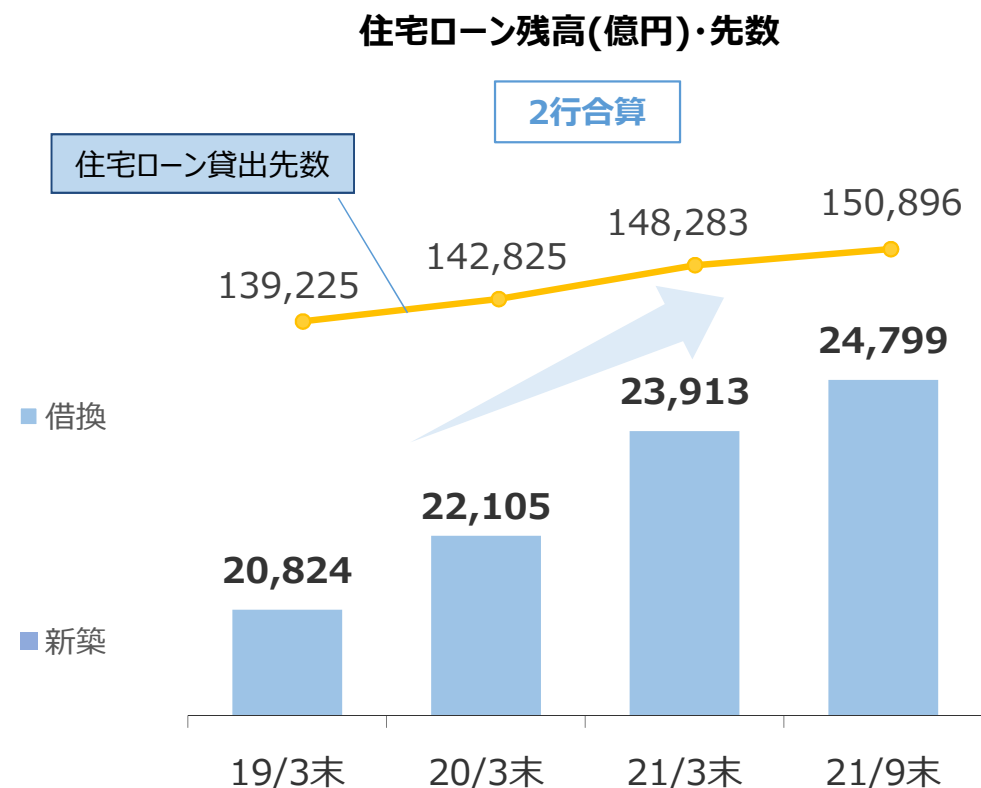
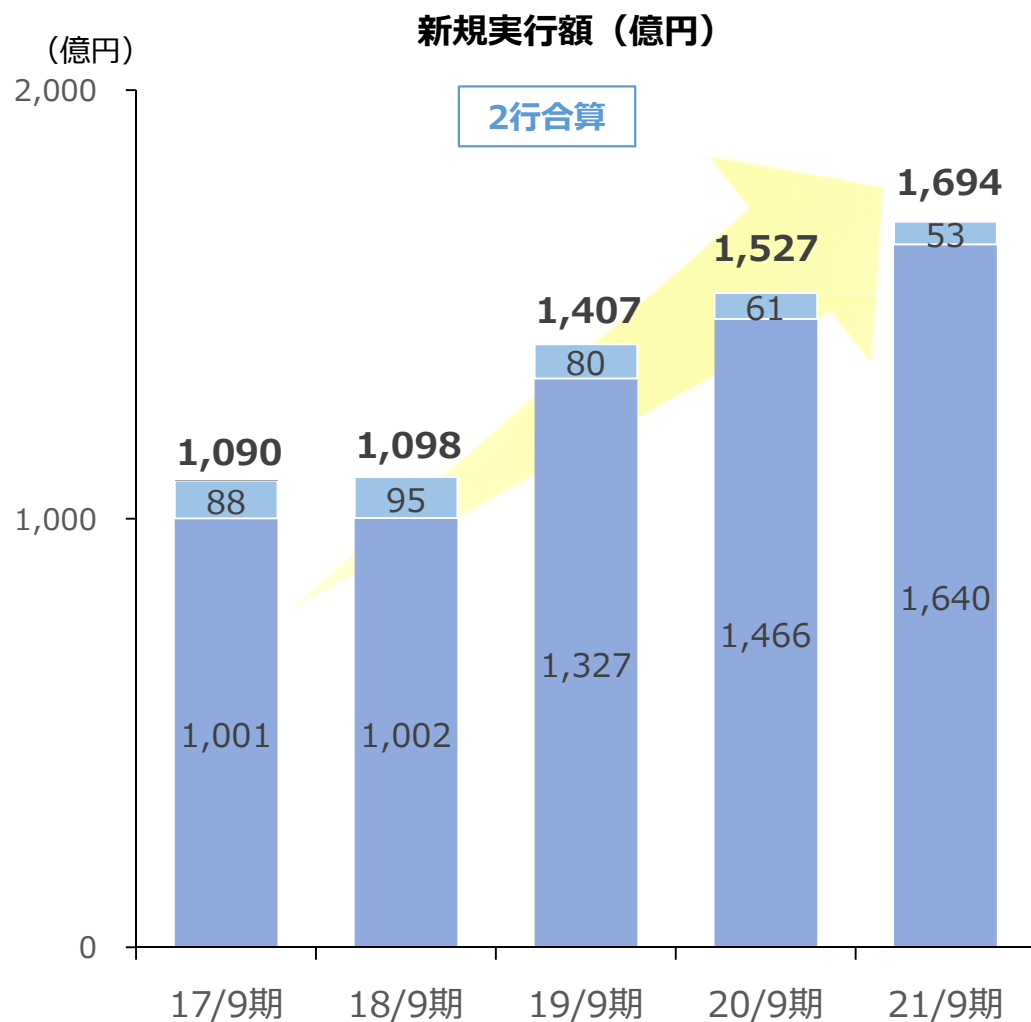
北陸3県6拠点 (北陸銀行)

北海道8拠点 (北海道銀行)

計14拠点到拡大

住宅ローンの商品性・利便性向上

住宅ローンの商品性・利便性向上により、2021年度中間期の新規実行額は2行合算で1,694億円となりました。引き続き、新商品の投入やサービスの拡充により、お客さまのニーズにお応えしてまいります。



【2021年上期 新規取扱商品】
「ほくぎんり・バース60」(北陸銀行・2021年6月～)
※北海道銀行も下期中に導入予定

デジタル化による利便性向上・非対面サービスの拡充

デジタル技術を活用し、お客さまの利便性向上と当社グループの業務効率化を同時に実現してまいります。

地域・お客さまへ

非対面デジタルサービスの拡充

アプリ・IBの利便性向上

⇒インターネットバンキングとシステムを一体化し、アプリで
 手続可能なメニューを拡充（投資信託損益状況確認など）

法人ポータルサービス

住宅ローン電子契約

インターネットによる生命保険募集

ITコンサルティングサービス

地域のキャッシュレス化

⇒北陸カード、道銀カードと連携し
 キャッシュレス普及を促進

地域のデジタル化支援

社内体制の整備

業務プロセス改革

Web会議ツールの活用

RPAによる業務の効率化

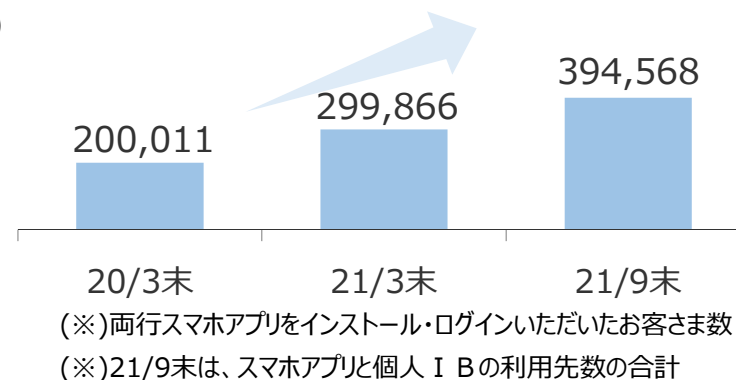
RPAによる事務削減量（累計時間）
116,932時間（2021年9月末）

デジタル人材の育成

デジタル関連の資格取得促進

⇒ITパスポートなど取得支援に
 関するWebセミナーの実施

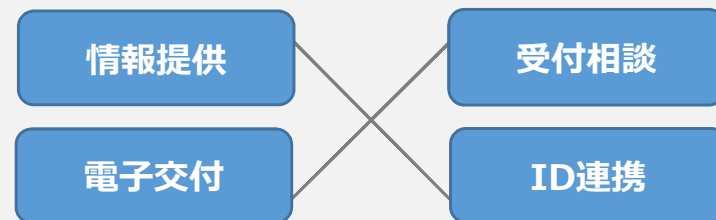
スマホアプリ利用先数（※）



法人ポータルサービスの提供

- ・電子交付サービスの開始によるペーパーレス化の促進
- ・セミナー情報など有益な情報を随時提供
- ・ポータル上へのバナー広告表示
- ・法人ポータル利用先数 **17,014先**（21/9末 21/3末対比+7,251先）

お客さまとの新たなコンタクトポイント（接点）の創出

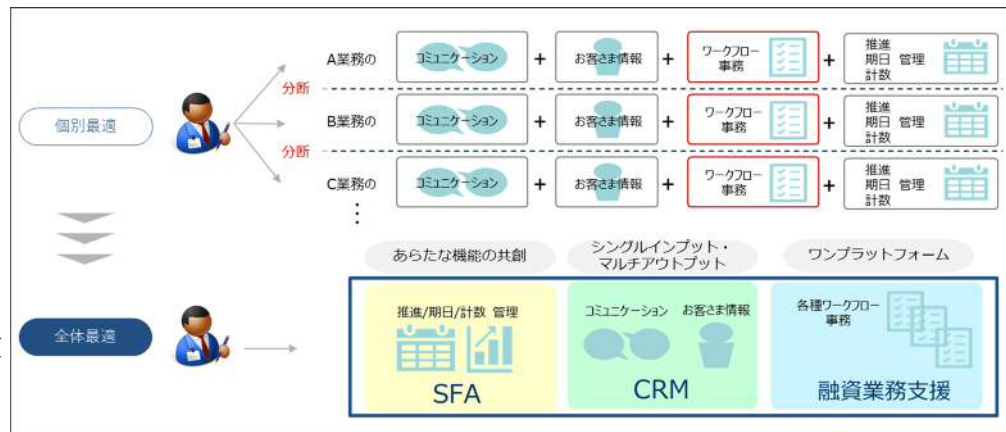


共同利用システム「MEJAR」の活用

地銀5行の共同利用システム「MEJAR」の枠組みを活用し高度化とコスト低減を同時に実現してまいります。

次期基幹系システム更改に向けた取り組み

- 北陸銀行、北海道銀行を含む地銀5行の共同利用システム「MEJAR」は、2024年の更改を目指しています。銀行共同利用システムで初めて基幹系システムにオープン基盤を採用する予定としております。
- また、同時に、渉外業務の提案力の向上・営業力の底上げや合理化・効率化を目的に、渉外業務改革を実現する次世代SFA・CRM／融資審査システムをMEJAR 5行で共同構築することにも合意しております。



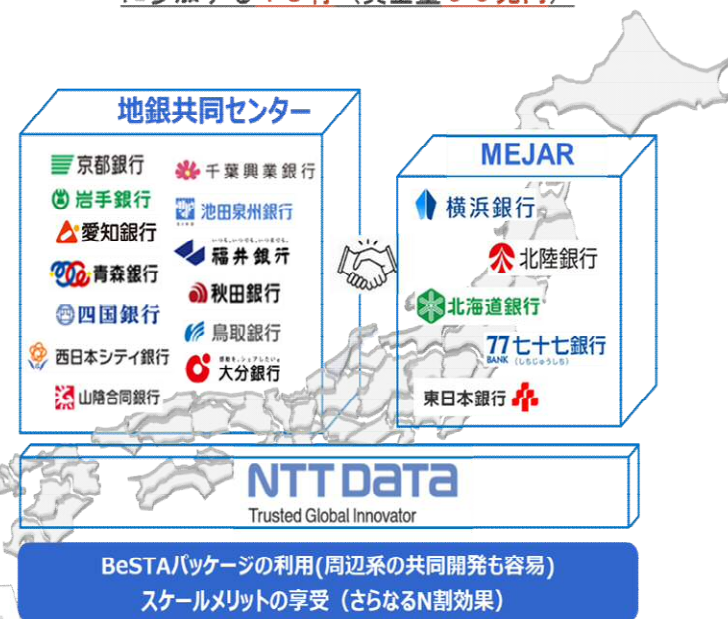
「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」の発足について

北陸銀行、北海道銀行を含むMEJAR5行、および地銀共同センター（BeSTA）利用全13行とのワーキンググループを発足いたしました。

共同化グループの枠組みを越えたシステム運用の効率化を検討してまいります。

「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」に参加する **18行**（資金量 **90兆円**）

名称	地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ
検討テーマ	勘定系システムの効率的運用 営業店窓口機器などの効率的な開発/調達 オンラインデータ連携基盤のアプリケーション相互利用 IT/デジタル人財の育成策 サイバーセキュリティの共助 ※検討テーマは随時追加
メンバー	MEJAR 5行 地銀共同センター 13行 NTTデータ



BeSTAパッケージの利用(周辺系の共同開発も容易)
スケールメリットの享受(さらなるN割効果)

働きやすい職場環境の整備、求められる人財の育成

幅広い知識や対応力、専門性を有した人財が求められており、多様なキャリア形成を積極的に支援すべく、職場環境の整備と人財育成に取り組んでおります。

健康経営の推進

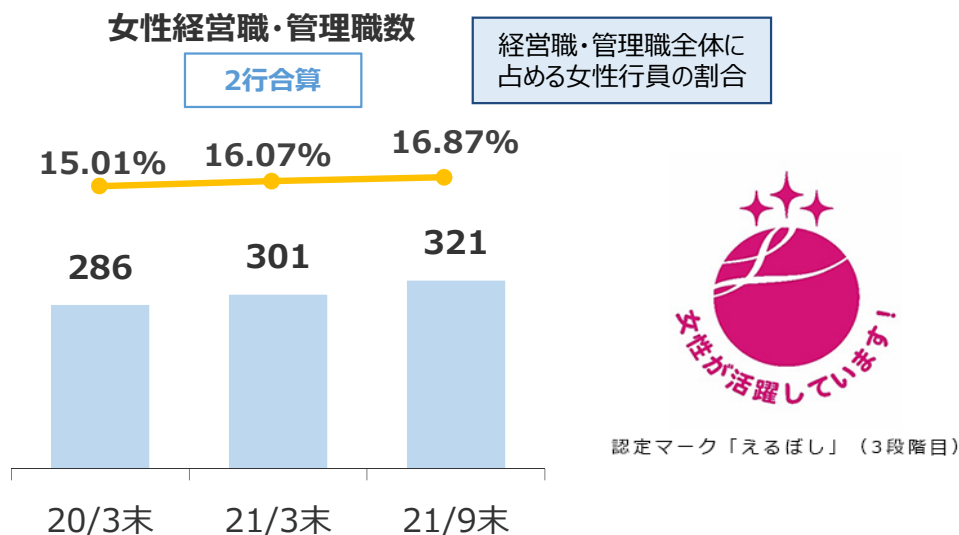
従業員の健康保持・増進に向けた働きやすい環境づくりや従業員の健康づくりへの支援の取り組みが評価され、北陸銀行・北海道銀行ともに「健康経営優良法人2021大規模法人部門（ホワイト500）」の認定を取得



※健康経営優良法人認定制度
経済産業省および日本健康会議が実施している制度で、地域の健康課題や日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実践していると認められた法人を顕彰

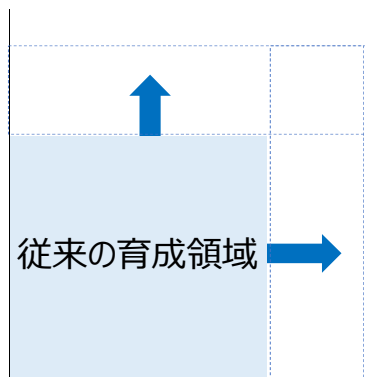
ダイバーシティの推進

多様な人財が能力や経験を発揮できる環境を整備



人材マネジメント

専門性



専門人財の育成

- 1級FP技能士・CFP資格の取得推奨
- システム人財の育成 など

研修機会の拡充

- コース別研修体系の見直し（北陸銀行）
- コンサルティング業務研修の拡充
- 融資業務スキルアップ研修 など

1級FP・CFP資格保有者（2021年9月末）

北陸銀行	北海道銀行
172名	64名

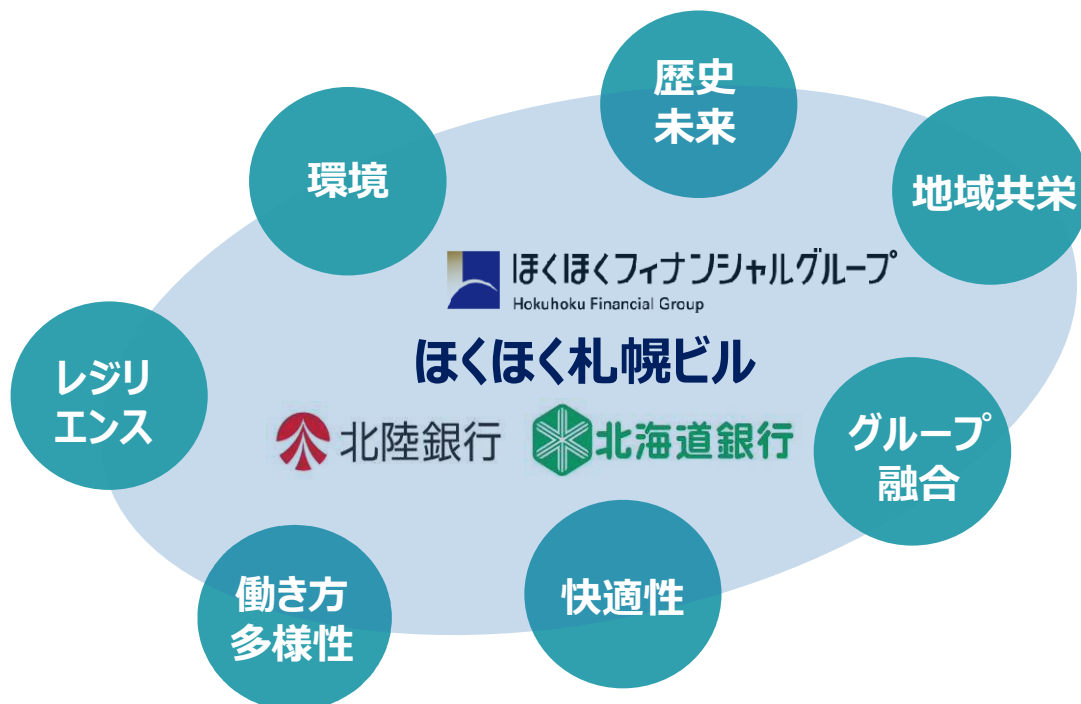
2020年度 行外派遣研修人員

北陸銀行	北海道銀行
18名	10名

2021年11月、「ほくほく札幌ビル」の着工について（2024年1月竣工予定）

新築する「ほくほく札幌ビル」は、北海道地区におけるグループのランドマークと位置づけ、グループ連携の拠点として効果的に活用し、お客さまへの付加価値提供に繋げてまいります。

当社グループの相互連携を象徴する施設



基本コンセプト ～「ほくほく札幌ビル」7つの軸～

① 歴史の継承と未来への飛躍

② 地域社会との共栄

③ グループの融合とシナジー極大化

④ お客さまに快適な空間とサービスを

⑤ 新しいワークスタイルと多様性

⑥ レジリエンスに立脚したBCP対応

⑦ 環境負荷の低減

新ビルの外観イメージ



（地上13階・地下3階のオフィスビル）

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
経営企画部(担当:寺田・谷口)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:info@hokuhoku-fg.co.jp

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。